



歯科診療室だより

公立みつぎ総合病院

第9号

平成29年6月8日

歯と口の健康週間

今年も6月4日がやってきた。昔は「むし歯の日」と覚えていた。はて、「むし歯の日」はむし歯になる日なのか？はたまたむし歯予防の日なのか？まだ、幼少であった時には深く考えたことがなかった。そこで歴史を紐解いてみた。昭和3年から昭和13年まで日本歯科医師会が6月4日に「虫歯予防デー」を実施していた。昭和18年から22年までは中止されていたが昭和24年「口腔衛生週間」が制定され、昭和27年「口腔衛生強調運動」、昭和31年「口腔衛生週間」に名称を変更し、昭和33年から平成24年まで「歯の衛生週間」、そして平成25年から「**歯と口の健康週間**」となっている。時代の流れとともに名称も変わり歯だけを対象としていたことが口腔機能まで対象となっている。



周術期口腔機能管理

周術期とは、入院、麻酔、手術、回復といった、術中だけでなく前後の期間を含めた一連の期間です。この期間の間に専門的口腔ケアを行うことは、気管内挿管による歯の脱臼・喪失の防止、誤嚥性肺炎の予防、口から食べる事の早期開始、口の中の衛生環境の整備による合併症・在院日数の減少やQOL維持・向上に効果的であると報告されています。



なぜ専門的口腔ケアは効果があるの？

“くち”の中に細菌はどのくらいいるかご存知ですか？1gの歯垢の中に1億個の細菌がいると言われていいます。この細菌が挿管時に口の中のから身体に入って発熱などの合併症を起こします。専門的口腔ケアは、口の中の細菌を減らす効果があり、それにより合併症を軽減します。

中の細菌を減らす効果があり、それにより合併症を軽減します。

専門的口腔ケアはなにをするの？

歯科衛生士が行う専門的口腔ケアは、単に「**歯の掃除**」ではありません。歯科専用の機械や器具を使って歯についている汚れ、歯茎や頬の粘膜そして舌の清掃を行い、細菌を減らします。また、歯がなくても専門的口腔ケアで口の中の細菌を減少させます。

わからないことがあればお気軽に**担当医**や**歯科スタッフ**にお尋ねください。

文責 診療部長 占部秀徳